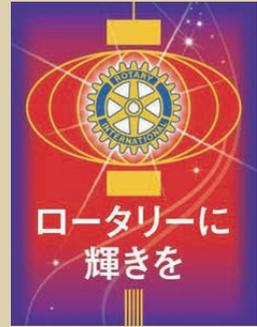




国際ロータリー第 2840 地区 2014-2015 年度

# ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER  
To Rotary club presidents and secretaries



## 竹内ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2  
前橋問屋センター会館 1F  
TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841  
E-mail:takeuchi@rid2840.jp URL:http://www.rid2840.jp

Vol.5 2014 **11** 月号



金山の麓の「金龍寺」に祀られている『新田義貞像』



## 「ガバナー月信」 11月号 目次

表紙 金山の麓の「金龍寺」に祀られている『新田義貞像』	01
目次	02
ガバナーメッセージ	03
<b>46のロータリー物語</b>	
【その13】沼田RC	04
【その14】高崎セントラルRC	05
【その15】中之条RC	06
【その16】大泉RC	07
【その17】安中RC	08
<b>事業報告</b>	
グローバル補助金活用プロジェクト福島訪問報告	09
青少年交換委員会・移動オリエンテーション報告	10
地区大会記念チャリティーゴルフ大会報告	12
RYLA研修会報告	13
「ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）セミナーPartⅡ」報告	15
<b>地区主要行事</b>	
地区主要行事一覧及び周年行事予定クラブ	16
<b>新会員紹介</b>	
新会員紹介	18
文庫通信	20
9月度出席報告	21
ガバナー月信についてのお願い・表紙説明	
広島地方集中豪雨災害への義捐金について	22
日本一短い樽沢トンネル・編集後記	23



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2840 地区  
2014-2015 年度  
ガバナー 竹内 正幸

### ロータリー財団月間・世界インターアクト週間によせて

ロータリー財団は「世界でよいことをしよう」を標語とし、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにする事を使命とし、会員皆様方の「寄付」を資金とし、各クラブの「各種プログラム参加」によって、地元及び国際社会に貢献する事です。

6つの重点分野を優先事項とし様々な事業を実施・実行する事により、世界平和を築き上げ国際ロータリーを「輝かせる」唯一無二の事業であります。

2013年7月より新しいプログラムが導入されました。それが「未来の夢計画」、ロータリアンが財団を身近に捉える事のできるプログラムでありクラブ活性化の大きな支援プログラムであります。以前「入口」がわかっても「出口」がわからないという意見をもたれた会員の方々にも、地区補助金の新しい活用により財団に対する理解を得ただけのものと思っております。2013-2014年度は33クラブの申請があり、クラブ活性化の為の事業を実施していただきました。それは国際奉仕と地域社会に貢献という様々な事業でありました。本年度の財団の数値目標を達成する事により、3年後には再び地区補助金、グローバル補助金として運用する事が出来る訳であります。

会員の方々の理解と協力により「世界でよいこと」が実現され、更にクラブの活性化に繋げる事ができるでしょう。

「財団は皆様方の寄付で成り立っている」「財団を理解すればロータリーの本質を知る事ができる」更なる会員皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

5大奉仕の内に青少年奉仕があり、ロータリーの大きな目的の1つに次代を担う青少年育成事業があります。現在地区内に16のインターアクトクラブがあり、8つのインターアクトの目標を掲げ、日々活動を続けております。

彼らは「インターナショナル」と「アクション」、国際的と行動という2つの言葉の複合からなるインターアクトの精神を継続・維持し、年1回の活動発表の場である年次大会と2560地区との共同事業である海外研修を実施しております。

ロータリークラブは提唱クラブとして学校側との情報を密にし、インターアクトに対し様々な協力・支援を与える事業を行っております。まだ提唱の無いクラブは青少年奉仕事業の1つとして、地域内に存在する学校に対して提唱クラブになるべく果敢に挑戦していただきたいと思っております。

「インターアクターからローターアクターへ そしてロータリアンへ」



46のロータリー  
物語  
【その13】

## 野球部の活動

国際奉仕委員長 関 真一

沼田ロータリークラブ野球部は5年前に設立され、現在の部員は39名で63名のクラブ会員の半数以上が所属し、年会費も支払って頂いております。

チーム内はとても仲が良く、楽しく練習や試合、その後の親睦にも取り組んでおり、県内の他クラブとも練習試合などを通して、積極的に交流と親睦を深めています。

設立当初は、群馬県の子選を勝ち抜いて阪神甲子園球場で行われる、全国ロータリークラブ野球大会出場を目指していました。

しかし、群馬県大会初出場の時は、状況があまり解らなかつたこともあり、野球経験者が少なく、練習もほとんどしてない状況にもかかわらず、沼田クラブは年齢が若いから簡単に勝てると少しなめてかかっていた。

また、急に出場を決めたため、ユニホームも間に合わず、ヘルメットも持っていなかったため、他のチームに借りて試合をするなど「アパッチ野球部」状態でした。

結果は、案の定1点取るのがやっとの惨敗で、最後は試合放棄するありさまでした。

あまりにも惨めで、悔しかったので皆が何とかしたいという思いがひとつになり、しっかり練習を始めるようになりました。

そして2年目には、予選トーナメントを勝ち進み決勝リーグに残り、第3位と結果を残したときは、本当に皆で喜びました。

甲子園大会も3年目の第29回大会から親睦大会となり、群馬県大会には負けましたが、念願の甲子園球場での試合が出来ました。

そして、目標が甲子園初勝利となった昨年の第30回大会にも出場しましたが勝利できなかったため、今年こそは初勝利を目指し9月6日には3年連続の出場をしてきました。

初勝利を目指し心配であったことは、過去2回とも前夜祭の後、試合のことを忘れて沼田に無い華やかな大阪の夜を満喫しすぎて、中には試合に力を発揮できない人もいたことでした。

しかし、その心配を他所に大阪城北ロータリークラブとの試合は、先制したものの逆転また逆転のシーソーゲームとなり、最終回の表の攻撃で見事逆転して時間切れとなり、念願の初勝利をつかむことが出来ました。

野球部は、若い人たちも多くナイター練習の後には、必ず一杯酌み交わし親睦を深めているためか、とても仲が良く今までに退部する人はいません。

ある意味、野球を通して楽しく活動することが部内の繋がりを高め、結果としてクラブの退会防止の一助にもなっていると思います。

今年の群馬県大会は、全国大会の関係で出場を見送りましたが今後の目標は、群馬県大会での優勝を目指すことです。

これからも練習とその後の懇親会に励んで、チームワークを大切に、野球部活動を楽しみたいと思います。

46のロータリー  
物語  
【その14】

## 我がクラブのロータリー物語

高崎セントラルRC会長 飯嶋 藤平

16年前に産声を上げた高崎セントラルは高崎地区に6番目のクラブとして38名のメンバーで発足いたしました。当時高崎には月曜日から金曜日まで毎日どこかのクラブが例会を開催しておりました従ってどの曜日を選んでも被ってしまい例会曜日の難民としてスタートすることになってしまいます。先輩たちの裏技でなんとお昼の時間帯から夜にシフトさせ夜間例会を基本とする新しいスタイルのロータリークラブとして発足することができました。私はこの夜間例会に一目ぼれして移籍を希望した次第です。

基本的に新しいクラブは新人で構成されるため他クラブに影響される事はないですが準備期間が極端に短かったため3名の会長経験者を含む10名の移籍メンバーが発足後新たなチャーターメンバーにレクチャーしたことでスポンサークラブの経験を少なからず受け継いでしまいました。規模にあった事業がクラブの健全運営に欠かせない条件ですから徐々に高崎セントラルクラブ独自の事業を展開するようになりました。そこには独自のロータリーモメントがおとずれ展開していくのです。

ここでいくつかのロータリー物語を紹介いたします。

JR駅隣接の自転車駐輪場への電動空気入れの設置を計画して市内全7駅に設置して完結するという事業です。現在4駅が未設置です。

知的障害者支援福祉施設への慰問など定期的に行い理解を深めている。当初は閉じこもりがちであった入所生を野外に招待しゲームやBBQなどをして交流していました。現在は日常の入所生と触れ合うため施設を訪問してクラブのコーラス部を中心に合唱や食事を共にして交流、理解を深めています。

高崎市倉渕町地区にある森林の中にある降雨による土砂災害地に植林し下草刈りや鳥獣被害から育成中の樹木保護を行っている。森林を緑のダムとたとえ、緑のダムの応援隊の呼称で活動しております。広島で起こった土砂災害などは植林や樹木保護活動が適切に行われていれば被害は軽減されていたかもしれない。広島市では土砂災害が懸念されている地点が35000箇所のにぼり危険箇所でも5000箇所を越えていたのも事実でどこから手をつけてよいのか分からない状態であったとおもいます。

十周年を機会に台北の華陽RCと友好クラブを締結し台湾にある中学校に水浄化施設を送るマッチンググラントを実行しました。東日本大震災では華陽RCから多額の義援金が届くなど事業をモメントとして友好が発展していると思います。

まだまだ紹介したい高崎セントラルのロータリー物語がいくつもありますが次回へのお楽しみとしておきます。

46のロータリー  
物語  
【その15】

## 鳥追い祭と中之条ロータリークラブ

中之条RC会長 本嶋 茂雄

中之条ロータリークラブの一年は、毎年1月14日の鳥追い祭から始まります。

鳥追い祭は、田畑の作物を荒らす鳥や獣を追い払い、五穀（米・麦・あわ・きび・豆）やその他の作物の豊かな実り・町内厄除・家内安全を願って始められたといわれています。毎年1月14日には、伊勢宮での神事の後に町中を練り歩き、『鳥追いだ、鳥追いだ、唐土（とつと）の鳥を追いもうせ、セッセッセ、サーラバよって追いもうせ』の掛声とともに太鼓をたたきます。鳥追い太鼓1号は直径1.03mで慶応3年（1867年）製。2号は直径1.03mで文久元年（1861年）製。3号は直径1.00mで慶応3年製です。材料のケヤキは茨城県真壁郡産で、太鼓の内面には江戸浅草の太鼓師・丸山重好が作ったと書かれており、他の太鼓にも、宝暦13年（1763年）から安政5年（1858年）の文字が書かれています。大きさや年代からきわめて大切なものと認められ、昭和58年（1983年）に群馬県重要有形民俗文化財に指定されました。

当クラブでは、この鳥追い太鼓が荘厳に鳴り響く中で、もちつき大会を毎年行っています。当日は、朝11時集合です。集合場所は、いつもの景品交換所です。鳥追い祭りでは、厄年の人や商店等から厄落としや商売繁盛を祈ってみかん投げが行われます。このみかんの中に、実は「あたり」が入っていて、その景品を引き換えてくれる場所が、いつもの集合場所です。ここでは、朝からドラム缶を半分に切って作った暖炉に、炭をいれて、ししゃもを焼いて、日本酒を爛します。みんなが集まるのを待ちながら、地元のお祭りの役員の方と、談笑しながら、ししゃもをかじり、爛酒をいただき暖まります。女衆もおしゃべりに興じつつ、あんこ、きな粉、大根おろしの準備をします。毎年恒例のもちつき大会の開始時間には、もう長い行列ができています。当クラブのベテランの方たちは、「餅つきは、若い衆にがんばってもらうべえじゃねえ」と言いますが、餅つきが始まると、血が騒ぐのか、ベテランが先頭きって杵を握り、勢いよくつき始めます。若い衆は、ベテランがくたびれたところが出番、と思うとまた、ベテランの方が、「ちょっとかしてみい」とまた餅をつき始めます。お客さんも、小っちゃい子供から、お年寄りまで、また近くの工場に勤める外国の方も混じって、大いに歓声をあげ、賑やかにもちつき大会が行われます。

太鼓、みかん投げに当クラブの餅つき大会と、鳥追い祭りの中で、ロータリークラブの活動がしっかりと根付いており、地域みなさんに認められ、頼りにされていることに、誇りを持ち、また1年がんばっていく気持ちになる鳥追い祭です。



46のロータリー  
物語  
【その16】

## 我がクラブのロータリー物語

大泉 RC 会長 川島 健一

大泉ロータリークラブは、1976年に太田ロータリークラブがスポンサークラブとなり、32名で創立致しました。今では、ただ一人のチャーターメンバーである青木光義さんは、大泉ロータリークラブの47年の歴史を知る貴重な存在です。本田年度で発刊された「私のロータリーモメント」では、ロータリーを楽しんでいる様子や生涯ロータリーアンとして生きるという覚悟を感じさせる文章を寄稿されました。クラブにとって大切なメンバーの一人です。

私は、48代クラブ会長となり、改めて「クラブ現況報告書」を読み直してみました。「過去の主な奉仕活動」として挙げられた様々な地域の奉仕活動、奨学生の派遣・受入、創立記念事業、国際奉仕活動等々。多岐にわたる活動の豊富さに改めて驚き、47年という歳月とクラブの先輩の努力と心を感じる事が出来ました。

4月19日に行われた地区研修・協議会において、田中作次前 RI 会長の講演がありました。最後の質問コーナーで、会場の一人から「田中前 RI 会長はロータリーのどこに魅力を感じ、ロータリーを続けているのですか？」という質問に対して、田中前 RI 会長は、即座に「ロータリーは良いことをします。それに感銘を受けてロータリーアンとして活動しているのです。」と明解に答えられていました。以前、地区の会合で聞いた話ですが、ポール・ハリスが来日された時に、「ロータリーとはどのような団体なのでしょうか？」という新聞記者の質問に「ロータリーというのは自分のお金で良いことをする殊勝な人の集まりです。」と答えられたそうです。

なぜ、このようなことを書くかという、大泉ロータリークラブの先輩の奉仕活動も、その志は全く同じであると確信できたからです。

2年後に創立50周年を迎えるクラブの歴史と伝統の重みを感じながら、楽しい親睦と奉仕活動を実践していく中で、「増強」という目標を会員一人一人が担い、同じ志を持つ仲間を一人でも多く増やしていきたいと思えます。そして、2017年には会員40名！を目標に、クラブの皆さんと心一つにして活動をして行きたいと思えます。

最後に、今年度のクラブ会長方針を記して終わりたいと思えます。

- 1、健康と友好（友情）で楽しく学びの例会
- 1、ロータリー精神で人と社会に貢献
- 1、メンバー全員で会員35名に挑戦し達成



46のロータリー  
物語  
【その17】

## 我がクラブのロータリー物語

安中 RC 会長 丸山 忍

我が安中ロータリークラブは、50周年を迎えます。

高崎ロータリークラブのスポンサーにより設立以来、RI2840 地区内や地区外のクラブの皆様のご指導ご協力のもと歩みを進めてまいりました。2015年4月12日に記念式典を開催いたします。

設立以来、チャーターメンバーの諸先輩方をはじめ多くの先輩会員の努力により、今日まで脈々とその意思は受け継がれ、今日に至っております。この間、群馬県内初のインターアクトクラブを新島学園に誕生させることができたり、青少年交換学生の派遣・受け入れ、地域の少年野球・少女ソフトの後援など青少年の健全育成に積極的に取り組んでまいりました。またロータリーの本質と言える職業奉仕・社会奉仕を通して会員の親睦を深めながら、地域への奉仕活動とロータリークラブの知名度向上に努力を重ねてまいりました。

我がクラブが近年取り組んでいる奉仕活動を紹介させていただきます。「市民皆様とともに楽しみながらミュージカル文化の定着」を目指し、ミュージカル公演を毎年開催し2日間で1,500名ほどの来場をいただいております。毎年開催を楽しみにして下さる方も増えてきています。田舎の町にミュージカル文化の種まきをしたいと目標の一つに掲げましたことが、一步一步実現に向かっていきます。

次に、ちょっとボランティアをしようと、チョボラゴルフ大会の開催も毎年続けている奉仕活動です。毎年5月下旬、ゴルフ場を貸切にして約200名の参加者にて開催をしています。参加者の皆様からいただいたチャリティー募金やオークションの売り上げを、地域福祉の向上や災害義援金などに有効に使用させて頂いております。毎年いただきました善意の一部は、会員からの善意と合わせ基金として積み立て、大きな金額が必要な時に取り崩して使用することとなっています。目標は大きくと、「一億円基金」と称し、はるかかなたの目標にむかって進んでいます。

また、「安中碓氷ユネスコ協会」の設立以来その活動に協力し、碓氷峠鉄道遺産群の保存や活用運動を行っている「鉄道遺産群を愛する会」の活動を支援しております。

さらには、新発田中央ロータリークラブと友好クラブとして毎年交互にクラブ訪問を行い、合同例会を開催するなど会員の交流を深めお互いにとっても良い刺激になっていると思っています。

一時会員の減少に苦しんだ時もありましたが、最近30代・40代の会員の入会が増え、例会も賑やかになってまいりました。今年度32人でスタートした会員もすでに35名となりました。今まさに変革の時を迎えていると思う今日この頃です。50周年を機に会員全員で奉仕活動に力を入れていくことが会員増強につながることを確信し、次の60周年には今より賑やかなクラブとなることを目指してまいります。



## —— グローバル補助金活用プロジェクト福島（第2530地区）訪問 報告 ——

地区副幹事 竹部 弘昭

去る、2014年9月19日（金）グローバル補助金活用プロジェクトチームによる第2530地区（福島）訪問を行いました。出席者は春山和夫地区幹事・森田高史グローバル補助金活用プロジェクトチームリーダー・大島秀夫サブリーダー・豊川一男メンバー・石塚泉メンバー・渡辺幸男メンバー・副幹事竹部弘昭の総勢7名での訪問をいたしました。

当日は伊勢崎・太田を7時に出発し第2530地区ガバナー事務所へ10時に着き第2530地区野崎潔ガバナー・川瀬成人地区幹事・平井義郎財団委員長との現況報告（福島県の現状）及び今後の活動予定を確認しました。

午前中に、福島県庁を訪問し職員の企画調整部避難地域復興局避難地域復興課の佐藤庄一氏他3名との会談を行いました。補助金の使い道、使い方を事細かく確認し活発な意見交換が出来たと思います。事業をどの様に展開していくか今後模索して頂けることでしょう。

午前中にもう1箇所、福島市役所の教育委員会を訪問し本間稔教育長との会談を行いました。お話の中で原発の問題で外での運動が限られていた現状で、小中学生体力が全国平均の8割位に体力が落ちている現状の説明を受け、教育長からは是非子供達の体力を回復させたいとの意見を戴き、回復のため行動を起こしたい話をお伺いすることが出来ました。具体的な内容をお持ちでしたが、今後第2530地区平井財団委員長との打合せの基に事業展開を図られれば幸いです。

午後は、浜通り地区の視察に向かいました。福島市から南相馬に向かう道路では除線作業があちらこちらで行われていました。南相馬では原町中央RC坂本典久会長・山城雅昭幹事他2名のメンバーで出迎えて戴き、浜通り地区の現状をお聞きし、まだまだ復興への道のりは遠い日々であることをあらためて認識させられました。出来る限り援助の必要性もまだまだ行わなければなりません。

本日、訪問を致しましたが今後の福島県の発展を祈りながら早期に事業展開を図られれば幸いです。本日に意見交換の多い、実りのある訪問だったと思います。

帰路の途中、先週より国道6号線が全面開通しましたが開通した場所はまだまだ警備の厳しい、廃墟のようなところでした。家の前には人が入れないように2～3mの柵があり窃盗に注意の様相でした。ここも日本なのかと思われ知らされました。

ご参加されましたメンバーの皆様強行スケジュールのも関わらず大変お疲れ様でした。

今後の皆様の活躍を期待しております。



## —— 青少年交換委員会・移動オリエンテーション 報告 ——

青少年交換委員会  
担当副幹事 岩井 健一郎

平成26年9月21日（日）、今年度 In Bound 交換学生の為の移動オリエンテーションが開催されました。これは日本の文化に触れ、友情を深める機会として並びに地区委員会のカウンセリングの機会として毎年この時期に企画開催されるものです。

前日までの天気予報とは異なり、当日は素晴らしく晴れ渡った秋空。In Bound 学生のクララ、グレース、クインの3名に上代会長ほか ROTEX メンバー及び青少年交換委員会の総勢13名の参加にての開催となりました。

早朝 8:30 高崎駅東口よりマイクロバスにて出発、関越道にて一路みなかみ町へ。最初の目的地はみなかみ町にある「たくみの里」、ここには山里の伝統的な手わざを伝える工房が点在し、各工房では木工や竹細工などたくみの指導を受けながら手作り体験が楽しめます。私達は最初に“七宝焼きの家”で七宝焼きに挑戦。猫やイルカや十字架などの銅板の上に、鉱物質の粉末を水でといて敷きさらにその上にビーズやガラス片で模様を描き、七輪で炙って水分を除いたのち電気炉で3分ほど焼くと出来上がり。それぞれ紐を通していただき首にかけた作品とともに次の家へ移動しました。そばの花の咲く畑の横を歩きながら向かったのは“ふれあいの家”、ここでは地元産のそば粉で作る十割そばのそば打ちに挑戦、3組に分かれそれぞれそば粉に水を入れ練ってから棒で伸ばし専用包丁にて各人バラバラの太さ（笑）に切って完成。十割そばはお湯でつなぐとは知りませんでした。クララ達 In Bound 交換学生も初めての体験に緊張しながら捏ねたり、伸ばしたり、切ったりと一所懸命。出来上がったそばはすぐ茹でていただき昼食となりました。舞茸・ししとう・カボチャの天ぷらと共に食べた自作のそばは大変美味しかったです。

昼食を終えすぐ近くのりんご園まで歩きりんご狩り（挽ぎ？）を行いました。

1人8個までとの規定はありましたが、みんなでカゴに入るだけ懸命に収穫しました。尚、バスの中で取れたたてのりんごを早速頬張ったクララとグレースは、アメリカのりんごより大変美味しいと大興奮しておりました。





再度マイクロバスに乗り、次に向かったのは「谷川岳」。1時間ほどで谷川岳ロープウェイの土合口駅に到着、全員1台のゴンドラに乗車して山を登ります。高所恐怖症のROTEXメンバーもおりましたが10分ほどで無事天神平駅に到着、ここで二人乗りリフトに乗り換え7分、やっと目的地・標高1502mの天神峠に到着しました。気温は12度ほど、紅葉を楽しむには少し早すぎましたが、日が照り風もなく、澄んだ空気と素晴らしい景観を堪能いたしました。ROTEXメンバーとIn Bound 交換学生で絵馬にサインをし奉納してから山を下りました。

リフト・ロープウェイと乗継ぎ土合口駅に戻り、マイクロバスにて高崎への帰路につきました。車中では朝早くからの活動で疲れたせい、ほとんどのメンバーがおやすみになっておられました。

さて用意したプログラムが順調に進行出来、また帰り道には渋滞も無くスムーズに移動出来た為、予定よりも1時間ほど早く高崎に到着。レストランにて夕食の後、解散となりました。

In Bound 交換学生達と1日を通じて、同じ経験をしながら語り合ったことで移動オリエンテーションの目的が充分達成された今回の企画でした。





地区大会記念チャリティーゴルフ大会報告

地区大会記念チャリティーゴルフ大会  
実行委員長 尾関 正俊

国際ロータリー第2840地区 地区大会記念チャリティーゴルフ大会が2014年9月28日（日）鳳凰ゴルフ倶楽部において開催されました。

当初は34クラブ315名のエントリーを頂きましたが、コンペ当日までには、ご都合による不参加等で、34クラブ288名のロータリアンの参加となりました。

さて、ホストクラブ太田中央ロータリークラブとコ・ホストクラブ新田ロータリークラブの各委員は、前日の午後5時に大会会場に集合し当日の受付場所の準備や参加賞等の仕分けを行いました。大会当日は、午前5時30分に集合し、大会記念碑除幕式準備並びに受付準備を行い、6時より竹内ガバナー、尾関大会実行委員長等関係役員のご出席をいただき除幕式を開式し閉式後、6時20分からは参加者の受付業務を開始しました。事前準備が各担当者レベルまでしっかりできておりましたので不手際もなく受付作業ができたと思います。

早朝7時8分からのスタートでしたが、天候にも恵まれ大きなトラブルも無くスムーズに皆様ホールアウトされ、ほぼ時間通りに表彰式を始めることができました。表彰式では、広島県の激甚災害へのチャリティー基金授与、ガバナー賞・ガナバー補佐賞・地区幹事副幹事賞をはじめ、各賞の発表を行いました。成績につきましては下記のとおりです。

今大会では、スムーズな進行を第一に心掛けて運営しておりましたが、行き届かない部分がありましたこととお詫び申し上げますとともに、ご参加いただきましたロータリアンの皆様の友情と鳳凰ゴルフ倶楽部の皆様のご協力を心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

【表彰結果】

			グロス	ネット
個人戦	優勝	山田 正仁 (太田南 RC)	80	70.4
	準優勝	杉木 基泰 (渋川みどり RC)	86	70.4
女子の部	優勝	鈴木裕美子 (桐生中央 RC)	77	72.2
			計スコアー	
団体戦	優勝	太田南 RC	214.6	
	準優勝	富岡 RC	214.6	

\* 詳細順位等は大会当日配布いたしました順位表をご覧ください。



ホストクラブ太田中央ロータリークラブ 会長 小暮正人  
コ・ホストクラブ新田ロータリークラブ 会長 稲田信昌



## 第14回RYLA研修会を終えて

RYLA 委員会 委員長 浜辺 宣昭

平成 26 年 10 月 11 日（土）～ 12 日（日）、高崎市倉渕町のはまゆう山荘にて、第 14 回 RYLA セミナーを開催いたしました。開催にあたりまして、各クラブの皆様には、ご支援ご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。以下に、セミナーのご報告をさせていただきます。

猛烈な勢力を持つ台風 19 号が、関東地方にゆっくりと向かって来ているにもかかわらず、大変な好天気の中、10 月 11 日（土）11：00、研修生 102 名の参加のもと、第 14 回 RYLA セミナーの開講式が開会されました。竹内正幸ガバナー、飯嶋藤平高崎セントラル RC 会長、森本淳 RYLA セミナー実行委員長のご挨拶を頂き、いよいよ、2 日間に亘るセミナーのスタートです。

今回のセミナーのテーマは、『自然の恵みに感謝して生きる』で、講師には、環境問題に関して各方面でご活躍中の、環境カウンセラー、片亀光氏をお招きしました。

昼食後、さんさんと降り注ぐ太陽の光を利用し、ご飯とパンケーキを調理しました。簡易に太陽光を集める道具を使用し、太陽の光のみで、わずか 90 分間で見事にパンケーキは焼き上がり、ご飯も炊き上がりました。

太陽の力の偉大さを実感した後、研修会場に戻り、講師からの講演にて、地球が直面している現状を、研修生全員で共有しました。

夕食は、これも自然の恵みに感謝する目的で、倉渕の旬の素材をふんだんに使った料理をいただき、その美味しさを堪能、皆がおかわりをしていました。

夕食後のアトラクションは、初めての試みとなりましたが、ローターアクトが企画・運営をし、ゲームを楽しみました。初めは、初対面ということもあり、どこかぎこちなさがありましたが、時間が進むうちに、皆打ち解け、終了の予定時刻をはるかに超過するほど、大変盛り上がりました。

11 日（日）、前日とはうって変わって、曇天で、肌寒い中、朝の集いで、山荘の周囲の山の散策をしました。至るところに自然の荒々しさや恵みが発見できた経験となりました。

研修は、いよいよ最終ゴールである「青年リーダーとして何を行うか」に向けて、グループワークを通して、対話を重ね、研修最後のグループ発表にて、各グループの到達した素晴らしい結論の発表で終了となりました。「生活の中でその存在があたりまえであった水、電気、ガス等は、とても貴重なもので、それらを大切にするために、出来ることからコツコツと行い、また、周囲や次世代の人たちにも、しっかりと伝えていきたい」、というのが、ほとんどのグループの決意表明となっていました。

RYLAの対象年齢は14～30歳としていますが、年齢層を絞ってプログラムを組み立てる必要があるとしています。今回は、会場の収容人数の関係から、また、より研修の効果を大きくするために、年齢を年長者に絞らせていた



きましたこと、ご了承ください。

最後に、研修後のアンケートの結果を簡単にご報告申し上げます。

- ・テーマについて …………… 大変満足、満足 64%
- ・アトラクションについて …………… 大変満足、満足 76%
- ・セミナーを他の人に勧めたいか …………… 大変思う、思う 72%

詳細につきましては、後日報告書にまとめ、各クラブへ配布させていただきます。

二日間に亘って開催されました今年度のRYLAセミナーが、事故も無く、無事に終了でき、また、一定の成果も得られたことは、偏に各クラブの皆様のご支援・ご協力の賜物であります。あらためまして、心より感謝申し上げます。また、種々、課題も見られましたので、しっかりと引き継ぎ、改善してまいります。今後とも、RYLAセミナーの趣旨をご理解いただき、倍旧のご支援・ご協力をお願いし、2014 - 2015 年度のRYLAセミナーのご報告とさせていただきます。





## 「ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) セミナー Part II」 報告

担当副幹事 橋本 徹

去る、10月19日（日）、前橋問屋センター会館において、『ロータリーリーダーシップ研修会（RLI）パートII』が実施されました。

竹内正幸ガバナー、曾我隆一バスターガバナー地区研修リーダーの御挨拶の後、本田博己直前ガバナー地区研修委員会副委員長より、恒例のパワーポイントを使った資料の説明と、第一回セミナーのアンケート結果報告も含めたガイダンスが行われました。

各セッション会場は、参加者の自己紹介等に時間を掛けなければならない事での時間配分や、長時間に及ぶセミナーのため緊張感の持続などの難しさは有ったものの、ディスカッションリーダーの巧みなセミナー進行もあり、程よい緊張感の中で、時には笑える話題なども取り入れて質疑等も行われておりました。また参加会員が自身のクラブの現状や問題点なども詳細に発表し、その内容に対する意見交換なども活発に行われておりました。

セミナー参加対象者が会長エレクト、次年度幹事予定者であることから、クラブに持ち帰るための貴重な事業として捉えていたように思いました。いずれのセッション会場でも真剣な眼差しと、熱いディスカッションが行われた有意義な一日であったと思います。

パートIIの各セッションは以下の6つとなっております

- セッション1会場 チーム作りとクラブ・コミュニケーション
- セッション2会場 戦略計画とクラブの分析
- セッション3会場 会員を惹きつける
- セッション4会場 目標とする奉仕 ロータリー財団II
- 米山記念奨学事業
- 国際奉仕

最後に、各会場担当ディスカッションリーダーが交代しながらも長時間立ったままセミナー進行を行うことが、より活発な意見交換ができる秘訣であったことが分かりました。『たいへんお疲れ様でありました』とこの報告の中で書かせて頂き、セミナー報告とさせていただきます。





### 2014-2015年度 地区主要行事一覧表 (年度前・上期)

	開催日	項目	場所
2013年	11月2日(土)～3日(日)	第1回ガバナー補佐会議	音羽の森 音羽倶楽部
	12月7日(土)	11:00 米山奨学生選考会面接官初打ち合わせ 12:00 米山学友会忘年会	前橋商工会議所
	12月15日(日)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所
2014年	1月6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE 壮行会(竹内年度主催)	ラ・フォンテーヌ
	1月12日(日)～18日(土)	国際協議会(ガバナーエレクト出席)	サンディエゴ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月2日(日)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	3月2日(日)	地区チーム研修セミナー	太田 ティアラグリーンパレス
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月15日(土)～16日(日)	会長以外・次年度幹事セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月20日(木)～23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月6日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	4月19日(土)	地区研修・協議会(旧:地区協議会)	太田 ティアラグリーンパレス
	4月25日(金)～26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月26日(土)	10:30 地区補助金最終審査会	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	継続米山奨学生資格面談	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カレッジ・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月24日(土)	am:第2回ガバナー補佐会議 pm:会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 現新地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)～4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	6月29日(土)	青少年受入学生歓送会・夏期交換学生歓送会	前橋問屋センター会館
	7月5日(土)	インターアクト合同会議	利根商業高校
	7月12日(土)	am:第1回ガバナー諮問委員会 pm:第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	7月13日(日)	青少年交換長期交換学生壮行会	前橋問屋センター会館
	7月26日(土)	インターアクト年次大会	利根商業高校
	8月9日(土)	地区指導者育成セミナー	太田 ティアラグリーンパレス
	8月9日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	太田 ティアラグリーンパレス
	8月10日(日)	地区大会	太田市新田文化会館エアリスホール 太田 ティアラグリーンパレス
	8月20日(水)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月23日(土)	地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
	8月30日(土)	青少年交換派遣学生帰朝報告会・受入学生歓送会	前橋問屋センター会館
	9月13日(土)	地区米山記念奨学セミナー	前橋問屋センター会館
	9月20日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告)	前橋商工会議所
	9月21日(日)	RLIセミナー Part I	前橋問屋センター会館
	9月28日(日)	地区大会記念チャリティゴルフ大会	太田 鳳凰ゴルフクラブ
	10月11日(土)～12日(日)	RYLA研修会	高崎倉渕エリア
	10月19日(日)	RLIセミナー Part II	前橋問屋センター会館
	10月26日(日)	地区決議会(会長・幹事会)	前橋商工会議所
	11月8日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	11月9日(日)	青少年交換派遣学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月16日(日)	RLIセミナー Part III	群馬会館
	11月25日(火)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	ホテルグランパシフィック LE DAIBA
	11月26日(水)	ガバナー会(GETS)	ホテルグランパシフィック LE DAIBA
	11月27日(木)～28日(金)	ロータリー研究会	ホテルグランパシフィック LE DAIBA
	12月6日(土)	米山学友会忘年会	前橋商工会議所
	12月 日(土)	茶の湯研修会	
	12月20日(土)	青少年交換学生クリスマス会・派遣候補生第1回オリエンテーション	ニューサンピア高崎



2014-2015年度 地区主要行事一覧表 (下期)

	開催日	項目	場所
2015年	1月10日(土)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	前橋
	1月17日(土)	第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月18日(日)~24日(金)	国際協議会(ガバナーエレクト出席)	サンディエゴ
	1月 日( )	青少年交換派遣候補生第2回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	1月31日(土)	会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	太田ナウリゾートホテル
	2月 1日(日)	米山奨学生選考会	前橋商工会議所
	2月 7日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)	前橋問屋センター会館
	2月14日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月 日( )	青少年交換派遣候補生第3回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	3月 8日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月19日(木)~22日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月18日(土)	継続米山記念奨学生資格面談	前橋問屋センター会館
	4月18日(土)	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月18日(土)	新規米山記念奨学生カウンセラー・米山記念奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	4月25日(土)	地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月 日( )~ 日(日)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	
	6月 6日(土)~9日(火)	国際大会	サンパウロ
	6月13日(土)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	前橋商工会議所
	6月13日(土)	18:00 現新地区役員合同連絡会議	前橋商工会議所
	6月14日(日)	米山学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2014-2015年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予定日	開催場所
高崎東	35	2015年2月16日(木)	高崎ビューホテル
伊勢崎中央	40	2015年3月28日(土)	ニューいづみ
前橋南	30	2015年4月11日(土)	前橋商工会議所
安中	50	2015年4月12日(日)	ホテル磯部ガーデン
館林ミレニアム	15	2015年5月23日(土)	正田醤油文右衛門ホール
草津	50	未定	未定

2014-2015年度 IM日程

分 区	予 定 日	場 所
第1分区	2014年12月6日(土)	前橋問屋センター会館
第2分区A	2015年2月21日(土)	桐生プリオパレス
第2分区B	2015年3月29日(日)	
第3分区	2015年5月16日(土)	
第4分区AB	2015年3月7日(土)	
第5分区	2015年3月1日(日)	
第6分区		



## 新会員紹介



新会員名 井本 万里子  
ク ラ ブ 桐生西  
入 会 日 2014年9月19日  
職 業 分 類 不動産賃貸業  
勤 務 先 みやま地産(有)  
役 職 代表取締役  
推 薦 者 星野幸男



新会員名 田中 信介  
ク ラ ブ 桐生西  
入 会 日 2014年9月19日  
職 業 分 類 損害保険  
勤 務 先 損害保険ジャパン日本興亜(株)  
役 職 支社長  
推 薦 者 根本正則、前原榮一



新会員名 前田 幸裕  
ク ラ ブ 桐生西  
入 会 日 2014年9月26日  
職 業 分 類 生命保険  
勤 務 先 日本生命保険相互会社 群馬代理店営業部  
役 職 営業部長  
推 薦 者 向田 靖



新会員名 猪俣 径也  
ク ラ ブ 伊勢崎  
入 会 日 2014年9月10日  
職 業 分 類 税理士  
勤 務 先 (株)猪俣会計  
役 職 取締役  
推 薦 者 平田 進・藤生 政雄



新会員名 城田 文紘  
ク ラ ブ 伊勢崎  
入 会 日 2014年9月10日  
職 業 分 類 建設業  
勤 務 先 第一工業(株)  
役 職 常務取締役  
推 薦 者 峯岸 則幸・川端 護



新会員名 星 好則  
ク ラ ブ 伊勢崎  
入 会 日 2014年9月3日  
職 業 分 類 コンクリート二次製品  
勤 務 先 (株)大星  
役 職 取締役  
推 薦 者 奥野 哲司・大和 勲



新会員名 岩崎 重雄  
ク ラ ブ 高崎  
入 会 日 2014年9月29日  
職 業 分 類 造園業  
勤 務 先 (株)八木造園  
役 職 代表取締役  
推 薦 者 金井 克智・矢嶋 真・嶋方 智之



新会員名 善如寺 信哉  
ク ラ ブ 高崎  
入 会 日 2014年9月29日  
職 業 分 類 設計事務所  
勤 務 先 (有)善如寺建築設計事務所  
役 職 代表取締役  
推 薦 者 嶋方 智之・三村 治



新会員名 水上 裕智  
ク ラ ブ 高崎  
入 会 日 2014年9月29日  
職 業 分 類 損害保険  
勤 務 先 損害保険ジャパン日本興亜(株)  
役 職 高崎支社 支社長  
推 薦 者 田中 久夫



新会員名 横山 慶一  
ク ラ ブ 高崎  
入 会 日 2014年9月29日  
職 業 分 類 信用金庫  
勤 務 先 しのめ信用金庫  
役 職 専務理事/弁護士  
推 薦 者 長井 友之



## 新会員紹介



新会員名 井上 聡  
ク ラ ブ 高崎北  
入 会 日 2014年7月23日  
職 業 分 類 商業銀行  
勤 務 先 (株)群馬銀行 高崎支店  
役 職 執行役員高崎支店長  
推 薦 者 杉浦 幸男



新会員名 柴崎 潔  
ク ラ ブ 高崎北  
入 会 日 2014年7月30日  
職 業 分 類 商業銀行  
勤 務 先 (株)東和銀行 高崎支店  
役 職 常務執行役員高崎支店長  
推 薦 者 安藤 震太郎



新会員名 小暮 勇人  
ク ラ ブ 館林  
入 会 日 2014年10月1日  
職 業 分 類 自動車钣金塗装  
勤 務 先 KOGURE BODY  
役 職 代表  
推 薦 者 小暮 雅丈・谷田川 敏幸



新会員名 洪澤 勉  
ク ラ ブ 館林  
入 会 日 2014年10月1日  
職 業 分 類 乳製品販売  
勤 務 先 (株)ミルクカンパニー館林  
役 職 代表取締役  
推 薦 者 中村 研司・谷田川 敏幸



新会員名 松尾 融  
ク ラ ブ 藤岡  
入 会 日 2014年6月5日  
職 業 分 類 生命保険  
勤 務 先 日本生命保険相互会群馬支社藤岡営業部  
役 職 営業部長  
推 薦 者 岩井 智



新会員名 松本 英二  
ク ラ ブ 藤岡  
入 会 日 2014年6月5日  
職 業 分 類 病院  
勤 務 先 医療法人三思会くすの木病院  
役 職 部長  
推 薦 者 村田 茂行



新会員名 間寄 孝雄  
ク ラ ブ 安中  
入 会 日 2014年10月14日  
職 業 分 類 税理士  
勤 務 先 間寄孝雄税理士事務所  
役 職 所長  
推 薦 者 田島 龍一



新会員名 入澤 英美  
ク ラ ブ 碓氷安中  
入 会 日 2014年9月4日  
職 業 分 類 飲食業  
勤 務 先 ラウンジ ガルボ  
役 職 代表  
推 薦 者 半田 信夫



新会員名 櫻井 喜久江  
ク ラ ブ 碓氷安中  
入 会 日 2014年9月4日  
職 業 分 類 茶道教授(表千家)  
勤 務 先 翠心庵  
役 職  
推 薦 者 櫻井 幹男



## 文庫通信 (326号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演より

- ◎ 「人生は感動を求める旅ーより多くの友を持とう」 市川伊三夫 [2014] 9p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎ 「政局を語る」 飯島 勲 2014 11p (D.2520 地区大会レポート)
- ◎ 「やっと見え始めた国家の再生」 中西輝政 2014 16p (D.2670 地区大会記録)
- ◎ 「世界の出来事、日本の出来事～当事者意識で見方が変わる」  
黒井文太郎 [2014] 11p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎ 「ミッション・パッション・ビジョン」 大迫三郎 2014 2p (D.2730 地区大会記録誌))
- ◎ 「未来に輝くサイエンス」 藤嶋 昭 2014 11p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎ 「奉仕は我が人生」 渡邊美樹 2014 8p (D.2550 地区大会記念誌)
- ◎ 「日本とマイクロネシア連邦の関係」 ジョン フリッツ 2014 4p (D.2780 地区大会報告書)
- ◎ 「ロータリー、この素晴らしき世界」 関場慶博 2014 10p (D.2550 地区大会記念誌)
- ◎ 「ロータリーを実践しよう」 杉谷卓紀 2014 6p (D.2780 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



## 第2840地区 9月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,916	1,967	1,987	20	98	84.70

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	4	82.47	115	115	112	-3	9
	前橋西	4	86.94	52	55	55	0	3
	前橋東	4	82.16	68	68	69	1	5
	前橋北	4	91.34	70	71	71	0	5
	前橋南	4	98.44	33	32	32	0	0
	前橋中央	4	85.42	28	27	27	0	6
	合計		87.80	366	368	366	-2	28
第2分区分区A	桐生	4	88.93	59	64	64	0	5
	桐生南	4	86.46	24	24	24	0	1
	桐生西	4	93.66	53	58	61	3	3
	桐生中央	4	76.92	26	26	26	0	4
	桐生赤城	4	87.50	44	46	46	0	7
	合計		86.69	206	218	221	3	20
	合計		86.69	206	218	221	3	20
第2分区分区B	伊勢崎	4	93.95	73	74	77	3	0
	群馬境	4	88.23	27	27	27	0	1
	伊勢崎中央	4	87.68	74	74	74	0	0
	伊勢崎南	4	75.00	21	21	25	4	1
	伊勢崎東	4	89.43	28	30	31	1	1
	合計		86.86	223	226	234	8	3
	合計		86.86	223	226	234	8	3
第3分区分区	高崎	4	89.52	64	78	82	4	3
	高崎南	4	74.60	62	62	63	1	4
	高崎北	4	84.00	71	70	70	0	0
	高崎東	4	78.77	35	36	37	1	1
	高崎ソフィア	4	76.25	39	39	40	1	4
	高崎セントラル	4	82.98	36	36	36	0	0
	合計		81.02	307	321	328	7	12

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	4	94.29	69	70	70	0	3
	太田西	4	86.37	16	16	16	0	2
	太田南	4	85.48	38	39	40	1	0
	新田	4	83.83	17	17	17	0	0
	太田中央	4	89.06	46	48	48	0	2
	合計		87.81	186	190	191	1	7
	合計		87.81	186	190	191	1	7
第4分区分区B	館林	4	83.15	43	46	46	0	0
	大泉	4	85.51	29	29	29	0	2
	館林西	4	78.56	18	21	21	0	0
	館林東	4	78.26	27	25	25	0	2
	館林シニア	4	95.74	25	26	26	0	0
	合計		84.24	142	147	147	0	4
第5分区分区	渋川	4	98.01	51	52	52	0	4
	沼田	4	85.19	62	63	63	0	1
	草津	4	80.78	15	15	15	0	1
	中之条	4	90.17	22	22	22	0	1
	沼田中央	4	95.37	52	56	56	0	1
	渋川みどり	4	79.02	44	45	45	0	3
	合計		88.09	246	253	253	0	11
第6分区分区	富岡	4	95.77	48	48	48	0	4
	藤岡	4	85.00	45	45	45	0	1
	安中	4	74.29	32	35	35	0	0
	藤岡北	4	79.65	16	17	17	0	2
	富岡中央	4	87.05	40	40	40	0	1
	碓氷安中	4	70.31	14	14	16	2	4
	藤岡南	4	66.25	19	19	20	1	1
	富岡かぶら	4	68.26	26	26	26	0	0
	合計		78.32	240	244	247	3	13



## ガバナー月信についてのお願い

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、竹内ガバナー事務所 takeuchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
  - 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて竹内ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。
- ※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

## 表紙写真説明

月信5号の「よしさだくん」は銅像ではなく木像です。

太田市内北部、金山の麓の「金龍寺」に祀られている『新田義貞像』について、ご住職のお話では来歴等は不詳で、おそらく江戸時代中期の像ではないか、ということでした。ご住職のご厚意によりまして写真を撮らせていただきました。大変ありがとうございました。新田義貞公本人に逢ったことがありませんので、どの像が本人にいちばん近いかは分かりません、みなさんのイメージの世界です。

## 広島地方集中豪雨災害への義捐金について

8月に発生した広島市における集中豪雨災害に対する義捐金を各クラブにお願いしました。地区チャリティーゴルフ大会、地区野球大会の義捐金と合わせ第 2710 地区（広島）へ送金致しました事をご報告申し上げます。

大変ありがとうございました。

義捐金総額	2,413,795 円
内 訳	
① 地区内各クラブより	2,068,195 円
② 地区チャリティーゴルフ大会	288,600 円
③ 地区野球大会	117,111 円



## 日本一短い樽沢トンネル

ダムに沈んでしまう…東日本旅客鉄道（JR 東日本）  
吾妻線の岩島駅 - 川原湯温泉駅間の旧線上に存在したトンネル



### 編集後記

去る9月に群馬県が持っている数少ない「日本一」がひとつ姿を消しました。

JR吾妻線岩島駅と川原湯温泉駅の間にある「日本一短い樽沢トンネル」です。

ハッ場ダムの本体工事の開始に伴いこの区間の線路が付け替えられ、トンネルを列車が通らなくなっていました。ハッ場ダムは昭和22年のカスリーン台風による災害を受けて計画されたダムで、すでに67年が経過してしまいました。

10月上旬には2個の台風が日本列島を縦断しました。最近は自然現象にも変調が多々見られます。

(閑話休題)

9月より始まりましたガバナー公式訪問、第1・第2A・第2B・第3分区を終え折り返し地点に到達しました。もうひと頑張り、皆様のご協力宜しくお願いいたします。

さて月信2号より竹内ガバナーの重点項目である「46のロータリー物語」を数クラブずつ掲載させていただいております。第4回目は、沼田・高崎セントラル・中之条・大泉・安中の各クラブにお願いしました。各クラブそれぞれの思いを感じ取っていただけたことと思います。

尚、いつでも是非会員に紹介したい物語がありましたら原稿をお寄せください。

ロータリーの感動は全会員で共有してこそクラブの絆が強固なものになるのではないのでしょうか。

2014-2015 年度ガバナー月信編集担当者 地区副幹事 大塩 孝（太田RC）